

## 「アスベスト迅速検査法の開発」で2016年度の「環境大臣賞」受賞

国立環境研究所、日刊工業新聞社主催、環境省後援の「環境賞」において、インテック先端技術研究所 青木功介、市田越子、医療システム部 齋藤聡が「携帯型蛍光顕微鏡による微細アスベスト迅速検査法の開発」で「環境大臣賞」を受賞しました。

「環境賞」は、環境を守り未来につなげる調査、研究、技術・製品開発、実践活動において、画期的な成果をあげた個人、法人、団体・グループ等が表彰されるものです。

アスベストは発がん性物質として2006年に法律で使用が全面禁止されています。しかし、古い建物の解体現場などでは、アスベストが飛散する可能性が高く、作業者の安全と周囲の環境に考慮する必要があるため、迅速かつ簡便に

計測する技術が求められています。

インテックは、2006年より広島大学らと共同で計測技術の研究開発を進めてきました。今回受賞の同開発では、大気捕集フィルターに蛍光試薬を数滴垂らし、蛍光顕微鏡でアスベスト繊維を数える方法で、約1時間での検査が可能となりました。

また、解体現場での検査のために開発した、携帯型の蛍光顕微鏡と蛍光試薬キットでは、可搬型の装置でアスベストを確認することができ、熟練者不在の状況下でも、画像を分析室に送信しリアルタイムで計測支援を受けることができます。地震で倒壊した建物からの飛散の確認にも適しており、今後こういった状況下での活用も期待されています。



贈賞式の様子  
©日刊工業新聞社撮影



可搬型のアスベスト計測機器

## かながわロボットイノベーション2016に出展

インテックは、2016年10月、東京ビッグサイトで開催された「かながわロボットイノベーション2016」に「スマートウォッチを用いたモーション認識技術と人型ロボット・Pepperを用いた自動プレゼンテーションシステム」と「台車型移動ロボットによる遠隔地視察システム」の2点を出展しました。

自動プレゼンテーションシステムは、Pepperにノンプログラミングで簡単にプレゼンテーションを自動実行させることができるPC用アプリケーションです。このアプリケーションとインテックが独自に開発したスマートウォッチを用いたモーション認識技術を組合せ、プレゼンテーションの一時停止、ページ指定、再開をハンズフリー（手放し）

で行うことができます。

また、遠隔地視察システムは、ロボット用オープンソースミドルウェア「ROS」<sup>※1</sup>で制御する台車型移動ロボットを用いた遠隔地を視察するシステムで、VR<sup>※2</sup>ゴーグルに遠隔地のロボットのカメラ視点とリアルタイムに作成されるロボット周辺の3D環境地図が表示されます。遠隔地のロボットを操作することで、あたかも遠隔地にいるような感覚を体験することができます。移動しながら見たいところを見ることができ、海外など遠隔地の工場視察などでの利用を想定しています。

### ■お問い合わせ先

株式会社インテック 先端技術研究所  
E-Mail: info-ati@intec.co.jp TEL: 03-5665-5091



※1 ROS (Robot Operating System)  
ロボット開発のための様々なソフトウェアの集合体。欧米で広く利用されているミドルウェア開発プラットフォーム  
※2 VR (Virtual Reality)  
仮想現実。コンピュータ上に人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるような感覚を体験できる技術

## 「F<sup>3</sup>クラウドCRM」に地図情報サービスを連携

金融機関向け渉外業務を支援するインテックのクラウド型CRMサービス「F<sup>3</sup>（エフキューブ）クラウドCRM」と株式会社パスコのクラウド型地図情報サービスを連携し、「F<sup>3</sup>クラウドCRM」のオプション機能として「地図情報サービス」の提供を2016年10月より開始しました。

本サービスでは、金融機関の訪問計画の立案と訪問経路の確認や効果的な「ついで訪問」のほか、人事異動による営業体制の再編時（担当顧客の割り当て）など、地図活用による情報の可視化や顧客位置を利用した業務の効率

化を支援いたします。また、外出先での利用を想定し、画面のデザインやメニューの表示形式など、タブレット端末上での優れた操作性と安全な利用環境を実現しています。

「F<sup>3</sup>クラウドCRM」は、インテックが長年にわたり蓄積した銀行業務のノウハウを集約し、2013年からサービスを開始しています。金融機関に最適な業務アプリケーションを月額課金制のクラウドサービスで提供しています。地図情報サービスのほかに、預り資産販売、ポートフォリオシミュレーション、モバイルアプリケーションなど金

融機関のニーズにマッチした業務コンポーネントを搭載しています。

### ■お問い合わせ先

株式会社インテック  
金融ソリューション事業本部  
金融ソリューションサービス企画部  
E-Mail: f3\_info@intec.co.jp TEL:045-451-2424



## レジリエント・シティサミットに協賛

2016年11月2日から3日間、富山市主催、世界銀行と米ロックフェラー財団共催による国際会議「レジリエント・シティサミット」が、インテック本社ビル（インテックビル、タワー111）スカイホールにて開催され、マイクロソフト米国本社等の企業および、「100のレジリエント・シティ」の選定都市他19ヵ国25都市から約100人が出席し、延べ約500人の市民が参加しました。世界銀行や世界の大企業・先進都市などが学び合い、富山市および運営を支援したインテックに高い評価が集まりました。

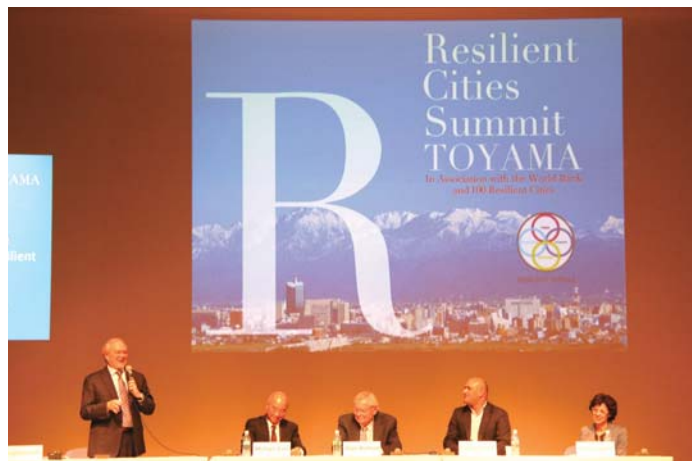
「100のレジリエント・シティ」プロジェクトは、米ロックフェラー財団が災害やテロ、環境問題などに対応した100のモデル都市を選定し、レジリエント（強くしなやか）に様々な変化に対応できる政策の実行に向けて活動しています。

富山市は、2014年に日本で初めてレジリエント・シティに選定されました。サミットでは、講演やパネル討論などを通して、レジリエンス戦略における都市の課題を協議しました。

インテックは、創業の地・富山に根差した貢献活動として本サミットへ協賛し、会場の提供や運営支援を行いました。また、「スマート・シティ・ソ

リューション」をテーマとしたパネル討論には、インテック 先端技術研究所の中川郁夫が登壇し、ICT利活用の側面からまちづくりについて施策提言を行いました。

インテックは、環境に優しく住民が安心安全に暮らすことができるまちづくりに今後も技術面から貢献してまいります。



スカイホールにて

## ISO/IEC 27017に基づく「ISMSクラウドセキュリティ認証」取得

2016年8月、一般財団法人日本情報経済社会推進協会は、安心してクラウドサービスを利用できる環境を整備するため、従来の情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)にクラウドサービス固有の管理策を追加した「ISMSクラウドセキュリティ認証」の認定を開始しました。

このたび、インテックのクラウドサービス「EINS/SPS Managed」なら

びに「EINS/SPS SelfPortal」を提供するネットワーク&アウトソーシング事業本部は、クラウドサービスに特化した国際規格であるISO/IEC 27017に基づく「ISMSクラウドセキュリティ認証」を取得しました。本認証取得によりインテックのクラウドサービスの安全性は、お客さまに安心してご利用いただけるサービスとして公的な国際規格に基づいて運営されていることが確

認されました。インテックは今後もセキュリティレベルの向上、維持管理に努め、お客さまに安心・安全なクラウドサービスを提供してまいります。



### ■お問い合わせ先

ネットワーク&アウトソーシング事業本部  
N&O事業推進部

E-Mail:net\_info@intec.co.jp TEL:045-451-2398

## 異業種交流会「輝く!COSMOS project」を発足

インテック、北陸銀行、北陸電力の3社は、ダイバーシティ推進に向けた異業種交流会「輝く!COSMOS project」を発足させました。本交流会は参加各社の従業員が他社との交流を通じて自身のキャリア形成を考え、スキルやモチベーションアップにつながるのと同時に、地域全体として女性活躍の機運を高めていくことを目的としています。

交流会の名称「COSMOS」は、Communication(コミュニケーション)、Skill(スキル)、Motivation(モチベーション)、Smile(スマイル)の頭文字を組み合わせて決定しました。

2016年12月に開催された第1回交流会には、3社よりダイバーシティを推進する責任者と女性社員約30名が参加し、今後のキャリア形成、部下育成、リーダーシップなどをテーマに意見交

換を行いました。

今後新たなコミュニティの形成や人的ネットワークの拡大により、自社のみならず地域全体のダイバーシティを推進してまいります。



## 「富山ブロックチェーン研究会」を発足

2016年10月、インテックは地域におけるブロックチェーンの応用案創出、およびこれに関する人的ネットワークを形成することを目的とし、「富山ブロックチェーン研究会」を発足させました。情報処理学会北陸支部の協力のもと、一般より参加者を募集し研究活動を進めてまいります。

インテック本社ビル(インテックビル、タワー111)で開催された第1回意見交換会には、社内外より約30名が参加し、ブロックチェーン技術の第一人

者である慶應義塾大学SFC研究所上席所員 斉藤賢爾氏に、地域でのブロックチェーンの可能性についてご講演いただきました。

また、インテック 先端技術研究所 古瀬正浩が、ブロックチェーンのシェアリングエコノミーへの応用提案について発表しました。

今後同会では、社内外より持ち寄せられたアイデアをまとめ、ブロックチェーン技術への関心が高い企業・団体に実証実験を提案することを目指します。



2016年10月、インテック本社ビルで開催された「富山ブロックチェーン研究会」第1回意見交換会の様子

※ブロックチェーン：インターネットでつながった多数の参加者全員で物や資産の全ての取引記録を共有し監視し合うことで、データの改ざんを困難にする技術。データを1ヵ所に集めずに、複製データを分散・共有することで、中央の管理者を必要とせず、情報システムも止まりにくいという強みを持つ。「分散型台帳」とも呼ばれ、通貨以外の多様な分野への応用が注目されている。

## 富山マラソン2016に協賛。人事部 宮下毅が快挙

2016年10月「富山マラソン2016」が開催され、インテックは前年に続き大会運営を支えるパートナーとして協賛しました。

本大会には富山県外からも多くのTISインテックグループ社員が参加し、秋晴れのなか、雄大な立山連峰を望みながら日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋を駆け抜けました。

また、ボランティアとして約80名の社員が参加し、給水ポイントや沿道の

整理などで全国から集まったランナーたちに心のこもったサポートを提供しました。

成績では、インテック人事部の宮下毅が男子年代別50歳代の部で2年連続第1位の快挙を成し遂げました。

宮下は「ふるさと富山の美しい景色が子どもの頃の心象風景と重なり走りながら胸が熱くなりました」と本大会を振り返っています。



宮下 毅  
インテック 人事部

## TISインテックグループ楽友会、第3回定期演奏会を開催

TISインテックグループ楽友会は、1月、第3回定期演奏会を開催しました。楽友会はTISインテックグループの社員で構成する音楽団体として2014年6月に設立され、グループ各社から約100名が参加しています。会社や役職を超えた音楽活動を通じてグループの一体感を高め、音楽芸術文化を発展させる活動を積極的に行っています。ビルのロビーでのランチタイムコンサートや定期演奏会の開催に続き、昨年8月には「第

56回東京都職場・一般吹奏楽コンクール」へ初参加、銅賞を受賞しました。

東京都北区の「北とぴあ」で開催された第3回定期演奏会では、吹奏楽による「伝説のアニメメドレー」や管弦

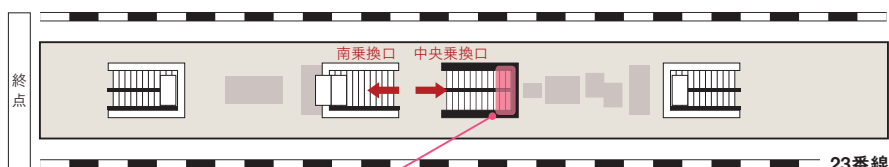
楽による「眠れる森の美女」など、全7曲を披露し約500名の観客を魅了しました。楽友会では、今後も皆さまに音楽を楽しんでいただける活動を続けてまいります。



## 東京駅に広告を掲出

1月より東京駅北陸新幹線ホーム中央エスカレーター正面にインテックの広告を掲出しました。冬によく晴れた日、ビルのはるか上空3,000mに浮かび上がる立山連峰は、凛とした美しさを放ち富山に住む人や訪れる人の心を強く打ちます。この雄大で幻想的な富山を象徴するパノラマをインテックの広告としました。北陸新幹線をご利用の際にはぜひご覧ください。

東京駅・北陸新幹線23番ホーム



広告掲出場所

